

もう一つの世界、分身の声

—小森はるか+瀬尾夏美「にじむ風景/声の辿り」を見る

2018年8月に向けて、東京大空襲・戦災資料センターの展示リニューアルを検討し始めました。2007年に増築して以来のことです。

継承とは何かを突き詰めるなかで、最近、「忘却論」を読み直しています。

アーレントが1950年代、『全体主義の起源』で提起した「忘却の穴」、それに新しい光を当てて、1990年代の記憶論へとつないだ高橋哲哉の一連の議論。

アーレントが言おうとしたのは、わたしたちが何かを「忘却した」という事実そのものを忘却することの根源的な暴力性ということです。そこには、原理的に、いかなる、証言も到達できない。それこそが、アウシュヴィッツが実行した「記憶の抹殺」の完全な形態であると。

そこに「ない」ものを、わたしたちは想像力の働きで「思う」ことができる。しかし、「ない」ことそのものが分からないとき、わたしたちはそれをどう想像すればいいのか。

いま、戦争を経験したひとがいなくなることで消えてしまうのは、その人についてのあれこれの記憶ではなく（それはまだ、ぼくたちが思い出すことができる）、そのひとが記憶していた人びとのこと、その人が生きていた世界、そこに、確かにうごめいていたあれやこれやの声、人びとの表情、ざわめいていた風景—それらすべてが「忘却の穴」へと、知らないうちに、落ち込んでいってしまうことではないか。

アーレントが恐れた「忘却の穴」は、アウシュヴィッツという一回きりの、劇的な出来事の間を離れて、もっと緩慢に、しかし、はるかに徹底した仕方で、わたしたちの環境を覆い尽くしていくのかもしれないと、そのとき思いました。

継承とは、このまったき忘却の手前で、記憶とわたしたちの間に、たどっていく梯子をかけること。

しかし、どのように？

そんなことを、ついさっきまで、ぼつぼつ考えながら、横浜市民ギャラリーの子森はるかさんと瀬尾夏美さんの新作「にじむ風景/声の辿り（Obscured Scenery/Tracing by One's Voice）」を見て、響き合うメッセージを感じました。その場で、用意してきた原稿を急いで書きかえて、午後のトークに望みました。

以下、そのときの発言を、書きとめておきます。

瀬尾さんの創作した「二重のまち」は、津波で流され、復興工事で生活の痕跡をかき消された上に建てられた2031年の街で、そこに、かつてあった街の思い出を人びとが語り合う、架空のストーリーです。

2031年に存在している街とは、いま、見えている風景が年を重ねて、そこまでたどりついたものです。

「二重のまち」の挿し絵には、2031年の地平のはるか下方に、地上からは見えないもう一つの街が描かれています。かつて、そこにあった街。津波で流され、失われてしまった、人びとが暮らしていた、街。それは、誰にも見えないけれど、2031年のひとたちのなかで、確かに生きています。ひとびとは2031年の街を生きると同時に、今は見えない、このもう一つの街も、生きています。

映像では、その街の思い出を、津波を生き延びたと思われる、色々なひとたちが朗読します。

彼ら、彼女たちは、復興工事が進む風景の前で、うしろ姿のまま、淡々と、見えない、「もう一つの世界」の思い出を、声に出して読みます。その声が、ヘッドフォンから、ダイレクトにわたしたちの耳に届きます。

背中しかみえない彼ら、彼女たちが、ときおり、角度を変えて、表情を見せます。

見えている世界は、ときにざわめく樹林で覆われ、雪が舞い降りてきます。目の前で重機が地層を削り取っていくその世界は、とても平穏なものとはいえないノイズに満ちた世界です。

「二重のまち」の登場人物には、いずれも、モデルがいると言います。

瀬尾さんが聞きとった誰かの声を、実際に起きた出来事をもとにした、抽象的なストーリーへと変換し、それを、もともと話を提供してくれたひとや、それとも関係ない、色々なひとが読み返す。こうして、声が声をたどっていくうちに、その声は、誰のものでもない、「もう一人の声」としてわたしたちの耳に響いてきます。

それは、読んでいる、その自分を眺めている、もう一人の分身というべき誰かです。

自分の声だけれど、自分のものではない、自分もその一人として含む、さまざまな他人の声を宿した「誰か」の声。

わたしは、こうやって、作家が創造してみせた世界を、まったく、荒唐無稽なおとぎ話のようなものだとは思いません。

そうではなく、圧倒的な現実のまえで、わたしたちにとって触れたり、感じたりすることが難しくなっている、でも確かに、そのなかを生きている、「もう一つの世界」が、こういうかたちで、そこに呼び返されているのだと思いました。

その声は、見えない世界の記憶を宿した、証言なのです。

被災地において、「見えない」ということは、人びとの生を規定する、もっとも根源的な現実です。その現実は、外からその場所につながろうとするわたしたちにとって、もっとも困難な壁でもあります。

でも、耳を澄ますと、その風景には、どこからか声が響いている。

そうした、抽象化された声を通じて、それこそ、荒唐無稽にほかならない現実のなかで、かろうじて自分を保つことができる。

わたしたちは、目の前の風景を生きると同時に、傍らにいるもう一人の分身の声に耳を

傾け、その響きに宿るもう一つの世界の存在を忘れないでいること—それが、「いま」を生きていくための支えであることを、この作品は教えてくれているように思いました。

新・今日の作家展 2017

キオクのかたち/キロクのかたち

久保ガエタン 小森はるか+瀬尾夏美 是恒さくら 笹岡啓子

2017年9月22日(金) - 10月9日(月祝) 10:00-18:00

横浜市民ギャラリー展示室1・B1

入場無料/会期中無休

主催 横浜市民ギャラリー (公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/西田装美株式会社 共同事業体)

助成 技術文化振興基金

協力 児玉画廊/認定NPO法人黄金町エリアマネジメントセンター/石巻工房

協賛 アサヒビール株式会社

New "Artists Today" Exhibition 2017

Comp
of Memories and Records

久保ガエタン

小森はるか+瀬尾夏美

是恒さくら

笹岡啓子

新・今日の作家展 2017

キオクのかたち/
キロクのかたち



2017年9月22日[金]ー10月9日[月・祝] 10:00-18:00 (入場は17:30まで)

横浜市民ギャラリー 展示室1、B1 入場無料/会期中無休

主催 | 横浜市民ギャラリー(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/西田装美株式会社 共同事業体)

助成 | 芸術文化振興基金  協力 | 児玉画廊/認定NPO法人黄金町エリアマネジメントセンター/石巻工房 協賛 | アサヒビール株式会社

キオクのかたち／キロクのかたち
Compilations of Memories and Records
久保ガエタン 小森はるか＋瀬尾夏美 是恒さくら 笹岡啓子

「新・今日の作家展」は横浜市民ギャラリーが開館した1964年から開催してきた年次の現代美術展「今日の作家展」(～2006年)の名を冠し、昨年より再始動した現代美術の動向を紹介する展覧会です。

本年は「キオクのかたち／キロクのかたち」をテーマに、土地や歴史の調査、人々へのインタビューなど、自己の外部にあるもの・過去の事物との接触を制作過程に取り入れて作品を発表する作家を紹介します。失われてしまったものや時を経て変化したものの記録、人々の中に息づく記憶が、作家というフィルターを通して作品へとかたちを結びます。また、その作品が新たな記録の役割をも担っています。

自身のルーツや常識外の現象などへの関心を掘り下げ、多

角的に調査しインスタレーションをおこなう久保ガエタン(1988年生まれ)。2012年より陸前高田、2015年から仙台を拠点とし、現地を中心に人々にインタビューを行い制作する映像作家の小森はるか(1989年生まれ)と画家の瀬尾夏美(1988年生まれ)。各地の捕鯨文化や狩猟・漁労文化についてオーラルヒストリーを収集し手工芸やリトルプレスのかたちで発表する是恒さくら(1986年生まれ)。出身地の広島について考察した写真の発表、東日本大震災の被災地を含む日本各地での撮影を通じ、災害から復興を遂げる場所に向き合ってきた写真家の笹岡啓子(1978年生まれ)。記憶・記録へのまなざしは様々です。彼らの作品に触れることは、“いま”や“わたしたち”を見つめ直す契機となることでしょう。



1 | 久保ガエタン「僕の体が僕の実験室です。あるいはそれを地球偶然管理局と呼ぶ」

観覧会風景/2017年/Courtesy of the artist and Kodama Gallery



2 | 小森はるか＋瀬尾夏美 巡回展「彼のした、土のうえ」in 盛岡

観覧会風景/2015年/Cyg art gallery

3 | 小森はるか＋瀬尾夏美「彼のした、土のうえ」置き忘れた

声を開きに行く/2014年/映像24分

4 | 是恒さくら 原画制作「ありふれたくら」Vol.1(部分)

/2016年/布、糸/撮影＝笹岡啓子

表面 | 笹岡啓子「PARK CITY」2016年/原稿インクジェットプリント

©Keiko Sasaoka



[関連イベント]

是恒さくらパフォーマンス「『ありふれたくら』を読む」

9月23日[土・祝]、24日[日] 13:00-13:30 会場 | 展示室B1

クロストーク「継承のかたち」

小森はるか＋瀬尾夏美×山本唯人(青山学院女子短期大学助教、社会学・空襲研究)

9月23日[土・祝] 14:30-16:00 会場 | 4階アトリエ

※大人のためのアトリエ講座 ヨコハマトリエンナーレ2017応援プログラム

対談「1,2,3,太陽!」

久保ガエタン×山川冬樹(現代美術家、ホーメイ歌手)

9月24日[日] 14:30-16:00 会場 | 4階アトリエ

クロストーク「爆心地の写真」

笹岡啓子×倉石信乃(明治大学教授、写真史)×小原真史(映像作家、キュレーター)

10月1日[日] 14:30-16:00 会場 | 4階アトリエ

学芸員によるギャラリートーク

9月30日[土] 14:00-14:30 会場 | 展示室1,B1

・いずれも参加無料、申込不要です

電車でのアクセス

JR 横浜駅南口徒歩10分

・紅毛坂交差点を過ぎて左斜め●の道を進みます。

京急「日ノ出町駅」から徒歩8分

・野毛坂交差点を戸部方面に右側歩道を進み●の

坂道を上ります。

バスでのアクセス

市営バス103系統「戸部1丁目」「野毛坂」から徒歩2分

市営バス89-156-292系統「野毛大通り」から徒歩7分

市営バス8-26-58-101-105-106系統「紅葉坂」から徒歩7分

駐車場 | 有料、予約制 [予約専用TEL:045-315-4440 (1週間前まで受付)]

送迎車サービス

おからの不自由な方、高齢者に配慮した無料送迎サービスです。桜木町駅東口タクシーのりばのタクシーを背にした付近★に送迎車が停車します。発車時刻等は横浜市民ギャラリーのホームページをご覧ください。



横浜市民ギャラリー YOKOHAMA CIVIC ART GALLERY

〒220-0031 横浜市中区宮崎町26-1

TEL:045-315-2828 FAX:045-315-3033 http://ycag.yafjp.org/

★
ヨコハマトリエンナーレ2017
島と星座とガラバゴス
応援プログラム

ヨコハマトリエンナーレ2017「島と星座とガラバゴス」2017年8月4日[金]～11月5日[日] 10:00～18:00

横浜美術館、横浜赤レンガ倉庫1号館、横浜開港記念会館地下ほか 休場日:第2・4木曜日 鑑賞券(横浜美術館、横浜赤レンガ倉庫1号館、横浜開港記念会館地下に会期中1回ずつ入場) 一般1,500円(1,800円)、大学・専門学校生900円(1,200円)、高校生500円(800円)、中学生以下無料 ※タコ内は当日券料金

問い合わせ先:ハローダイヤル 03-5777-8600(8:00-22:00) 公式WEBサイト: http://www.yokohamatriennale.jp

大人のためのアトリエ講座
2017年度後期

YOKOHAMA CIVIC ART GALLERY
横浜市民ギャラリー

クロストーク「継承のかたち」

小森はるか＋瀬尾夏美



山本唯人

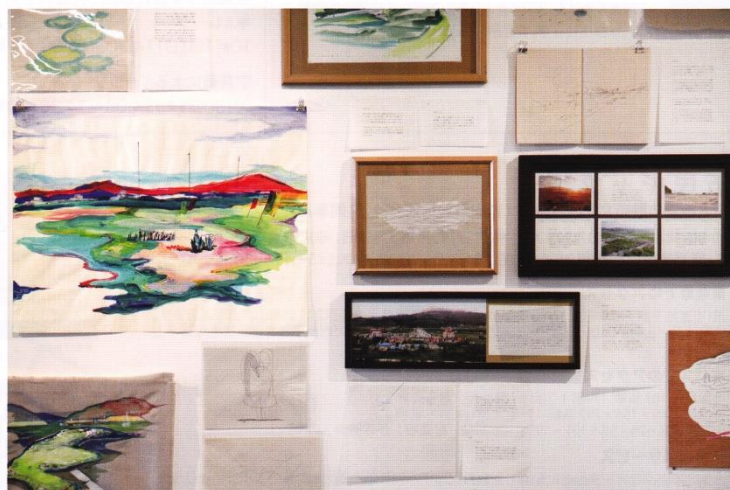
2017

9/23 (土・祝)

14:30～16:00

※開場は13:45

会場：横浜市民ギャラリー4階アトリエ
申込不要、参加無料



ヤ
ヨコハマトリエナーレ2017
島と星座とガラパゴス
——応援プログラム——

小森はるか＋瀬尾夏美 巡回展「波のした、土のうえ」in 盛岡 展覧会風景/2015年/Cyg art gallery

大人のためのアトリエ講座は、専門的な創作活動やレクチャーを体験することができるプログラムです。

ヨコハマトリエンナーレ2017応援プログラム クロストーク「継承のかたち」

ヨコハマトリエンナーレ2017出品作家の瀬尾夏美さん、瀬尾さんとユニットで活動をしている映像作家の小森はるかさん、災害研究、記憶の継承論などが専門の山本唯人さんをお迎えし、「新・今日の作家展2017」のテーマである記憶と記録や、出来事を語り継ぐ方法についてお話しします。

*小森はるかさんと瀬尾夏美さんは、横浜市民ギャラリー「新・今日の作家展2017 キオクのかたち／キロクのかたち」の出品作家です。

9/23(土・祝) 14:30～16:00

講師：小森はるか(映像作家)＋瀬尾夏美(画家)、

山本唯人(青山学院女子短期大学助教、社会学・空襲研究)

申込不要、参加無料



小森はるか・瀬尾夏美
《波のした、土のうへー置き忘れた声を聞きに行く》
2014年、映像24分

講師紹介



小森はるか＋瀬尾夏美(こもり・はるか＋せお・なつみ)

映像作家の小森と画家で作家の瀬尾によるアートユニット。2011年より協同制作を開始。2012年岩手県陸前高田市、2015年仙台に拠点を移し、土地との協働を通して記録を行う「一般社団法人NOOK」を設立。小森はるか1989年静岡県生まれ。東京藝術大学美術学部先端芸術表現科卒業、同大学院修士課程修了。／瀬尾夏美1988年東京都生まれ。同大学院修士課程修了。

東京藝術大学美術学部先端芸術表現科卒業、同大学院修士課程油画専攻修了。主な展覧会に「3.11とアーティスト」進行形の記録(水戸芸術館／茨城)、「Art action UK」(HUSK／ロンドン)、「記録と想起・イメージの家を歩く」(せんだいメディアテーク／宮城)、「あたらしい地面／地底のうたを聴く」(ギャラリー・ハシモト／東京)等。自主企画の展覧会「波のした、土のうへ、」遠い山／山の終戦」を全国巡回中。



山本唯人(やまと・ただひと)

社会学者、キュレーター。1972年東京都生まれ。2005年より東京空襲・戦災資料センターで研究・展示・社会教育にかかわる。2011年より岩手県大船渡市のフィールドワーク調査を続ける。2016年より青山学院女子短期大学助教。専門は都市社会学、災害研究、記憶継承論。

新・今日の作家展2017 キオクのかたち／キロクのかたち

2017年9月22日(金)～10月9日(月・祝)

10:00～18:00(入場は17:30まで)

横浜市民ギャラリー展示室1、B1 / 入場無料 / 会期中無休

出品作家：久保ガエタン、小森はるか＋瀬尾夏美、是恒さくら、笹岡啓子

関連イベント ※いずれも参加無料、申込不要

是恒さくらパフォーマンス「『ありふれたくじら』を読む」

9月23日(土・祝)、24日(日) 13:00～13:30 会場 | 展示室B1

対談「1,2,3,太陽!」

久保ガエタン×山川冬樹(現代美術家、ホーメイ歌手)

9月24日(日) 14:30～16:00 会場 | 4階アトリエ

クロストーク「爆心地の写真」

笹岡啓子×倉石信乃(明治大学教授、写真史)×小原真史(映像作家、キュレーター)

10月1日(日) 14:30～16:00 会場 | 4階アトリエ

学芸員によるギャラリートーク

9月30日(土) 14:00～14:30 会場 | 展示室1B1

横浜市民ギャラリー

(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 / 西田装美株式会社 共同事業体)

開館時間/10:00-18:00(入場は17:30まで) 休館日/毎月第3日曜日、年末年始

〒220-0031 横浜市西区宮崎町26-1 TEL.045-315-2828 FAX.045-315-3033



■電車でのアクセス

JR・市営地下鉄「桜木町駅」から徒歩10分 ※紅葉橋交差点を過ぎて左斜め①の道を進みます。京急「日ノ出町駅」から徒歩8分 ※野毛坂交差点を戸部方面に右側歩道を進み②の坂道を上がります。



■バスでのアクセス

市営バス 103 系統「戸部1丁目」「野毛坂」から徒歩2分
市営バス 89・156・292 系統「野毛大通り」から徒歩7分
市営バス 8・26・58・101・105・106 系統「紅葉坂」から徒歩7分



■送迎車サービス

お体の不自由な方・高齢者に配慮した無料送迎サービスです。桜木町東口タクシー乗り場のタクシーを背にした付近★に送迎車が停車します。発車時刻等は横浜市民ギャラリーのホームページおよび館内配布チラシをご覧ください。



■駐車場

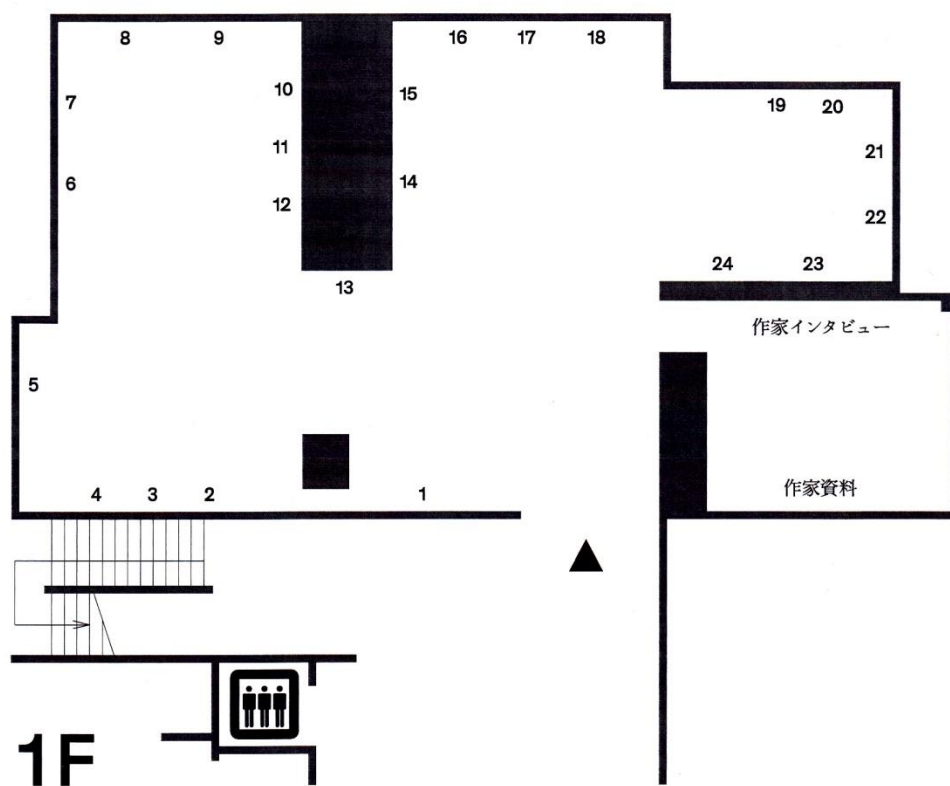
有料、予約制 [予約専用 TEL 045-315-4440 (1週間前から受付)]



新・今日の作家展 2017

キオクのかたち／キロクのかたち

会場マップ・作品リスト Floor Map / List of Works



New "Artists Today" Exhibition 2017

Compilations of Memories and Records

作品名(日・英) 制作年 材質・技法 Material and Technique サイズ(縦×横 cm) 所蔵先 collection				
笹岡啓子 Keiko Sasaoka				
1 PARK CITY 2017 顔料インクジェットプリント Pigment Inkjet Print 100×133.3 作家蔵 Collection of the Artist —	6 PARK CITY 2017 顔料インクジェットプリント Pigment Inkjet Print 100×133.3 作家蔵 Collection of the Artist —	13 PARK CITY 2005 顔料インクジェットプリント Pigment Inkjet Print 50×50 作家蔵 Collection of the Artist —	20 PARK CITY 2006 顔料インクジェットプリント Pigment Inkjet Print 50×50 作家蔵 Collection of the Artist —	
2 PARK CITY 2015 顔料インクジェットプリント Pigment Inkjet Print 100×133.3 作家蔵 Collection of the Artist —	7 PARK CITY 2017 顔料インクジェットプリント Pigment Inkjet Print 100×133.3 作家蔵 Collection of the Artist —	14 PARK CITY 2017 顔料インクジェットプリント Pigment Inkjet Print 100×133.3 作家蔵 Collection of the Artist —	21 PARK CITY 2008 顔料インクジェットプリント Pigment Inkjet Print 50×50 作家蔵 Collection of the Artist —	
3 PARK CITY 2017 顔料インクジェットプリント Pigment Inkjet Print 100×133.3 作家蔵 Collection of the Artist —	8 PARK CITY 2017 顔料インクジェットプリント Pigment Inkjet Print 100×133.3 作家蔵 Collection of the Artist —	15 PARK CITY 2014 顔料インクジェットプリント Pigment Inkjet Print 100×133.3 作家蔵 Collection of the Artist —	22 PARK CITY 2017 顔料インクジェットプリント Pigment Inkjet Print 100×150 作家蔵 Collection of the Artist —	
4 PARK CITY 2005 顔料インクジェットプリント Pigment Inkjet Print 50×50 作家蔵 Collection of the Artist —	9 PARK CITY 2017 顔料インクジェットプリント Pigment Inkjet Print 100×133.3 作家蔵 Collection of the Artist —	16 PARK CITY 2015 顔料インクジェットプリント Pigment Inkjet Print 100×150 作家蔵 Collection of the Artist —	23 PARK CITY 2017 顔料インクジェットプリント Pigment Inkjet Print 100×133.3 作家蔵 Collection of the Artist —	
5 PARK CITY 2017 顔料インクジェットプリント Pigment Inkjet Print 100×133.3 作家蔵 Collection of the Artist	10 PARK CITY 2005 顔料インクジェットプリント Pigment Inkjet Print 77×77 作家蔵 Collection of the Artist —	17 PARK CITY 2015 顔料インクジェットプリント Pigment Inkjet Print 77×101 作家蔵 Collection of the Artist —	24 PARK CITY 2016 顔料インクジェットプリント Pigment Inkjet Print 100×133.3 作家蔵 Collection of the Artist	
	11 PARK CITY 2005 顔料インクジェットプリント Pigment Inkjet Print 77×77 作家蔵 Collection of the Artist —	18 PARK CITY 2017 顔料インクジェットプリント Pigment Inkjet Print 100×133.3 作家蔵 Collection of the Artist —		
	12 PARK CITY 2007 顔料インクジェットプリント Pigment Inkjet Print 50×50 作家蔵 Collection of the Artist	19 PARK CITY 2007 顔料インクジェットプリント Pigment Inkjet Print 50×50 作家蔵 Collection of the Artist		

作品名(日)

作品名(英)

制作年

材質・技法

Material and Technique

サイズ(縦×横×高さcm)

所蔵先

collection

是恒さくら Sakura Koretsune

ありふれたくじら Ordinary Whales

25 Vol.1: 網地島・鮎川浜

Vol.1: Aji Island and Ayukawahama

2016

リトルプレス、原画刺繍(布に刺繍)

"Booklet Series, Original embroidery works

(embroidery on cloth)"

リトルプレス:B6サイズ 56p、原画刺繍:370×53

作家蔵

Collection of the Artist

—

26 Vol.2: ポイント・ホープ

Vol.2: Point Hope

2016

リトルプレス、原画刺繍(布に刺繍)

"Booklet Series, Original embroidery works

(embroidery on cloth)"

リトルプレス:B6サイズ 64p、原画刺繍:370×94

作家蔵

Collection of the Artist

—

27 Vol.3: 牡鹿半島〜太地浦

Vol.3: Oshika Peninsula to Taijiura

2017

リトルプレス、原画刺繍(布に刺繍)

"Booklet Series, Original embroidery works

(embroidery on cloth)"

リトルプレス:B6サイズ 52p、原画刺繍:370×67

作家蔵

Collection of the Artist

—

28 Vol.4: 網走のカラス

Vol.4: Raven in Abashiri

2017

リトルプレス、原画刺繍(布に刺繍)

"Booklet Series, Original embroidery works

(embroidery on cloth)"

リトルプレス:B6サイズ 52p、原画刺繍:300×110

作家蔵

Collection of the Artist

小森はるか+瀬尾夏美 Haruka Komori + Natsumi Seo

にじむ風景/声の辿り obscure scenery / tracing by one's voice

29 にじむ風景

obscure scenery

2017

テキスト

Text

作家蔵

Collection of the Artist

—

30 近くなる

approaching to the new scenery

2017

鉛筆、ボールペン、墨、紙

Pencil, pen, and glue on paper

19.6×14.6

作家蔵

Collection of the Artist

—

31 声の辿り「二重のまち」

tracing by one's voice

"Double layered town"

2017

映像

Video

22分

作家蔵

Collection of the Artist

—

32 本丸公園(陸前高田市高田町)

Honmaru park

(Takatacho, Rikuzentakata)

2017

アクリル、色鉛筆、紙

Acrylic and colored pencil on paper

28.0×36.7

作家蔵

Collection of the Artist

—

33 諏訪神社(陸前高田市気仙町)

Suwa shrine

(Kesencho, Rikuzentakata)

2017

アクリル、色鉛筆、紙

Acrylic and colored pencil on paper

29.4×38.8

作家蔵

Collection of the Artist

—

34 五本松(陸前高田市高田町)

Gohonmatsu

(Takatacho, Rikuzentakata)

2017

アクリル、色鉛筆、紙

Acrylic and colored pencil on paper

27.9×37.5

作家蔵

Collection of the Artist

—

35 五葉橋(気仙郡住田町上有住)

Goyo bridge

(Kamiasu, Sumitacho, Kesengun)

2017

アクリル、色鉛筆、紙

Acrylic and colored pencil on paper

29.5×38.5

作家蔵

Collection of the Artist

—

36 脇ノ沢漁港(陸前高田市米崎町)

Wakinosawa fishing port

(Yonezakicho, Rikuzentakata)

2017

アクリル、色鉛筆、紙

Acrylic and colored pencil on paper

27.6×37.6

作家蔵

Collection of the Artist

—

37 ジャズ喫茶ジョニー(陸前高田市竹駒町)

Jazz Time Johnny

(Takekomacho, Rikuzentakata)

2017

アクリル、色鉛筆、紙

Acrylic and colored pencil on paper

29.4×38.8

作家蔵

Collection of the Artist

—

38 にじむ風景(2017.9)

obscure scenery 2017.9

2017

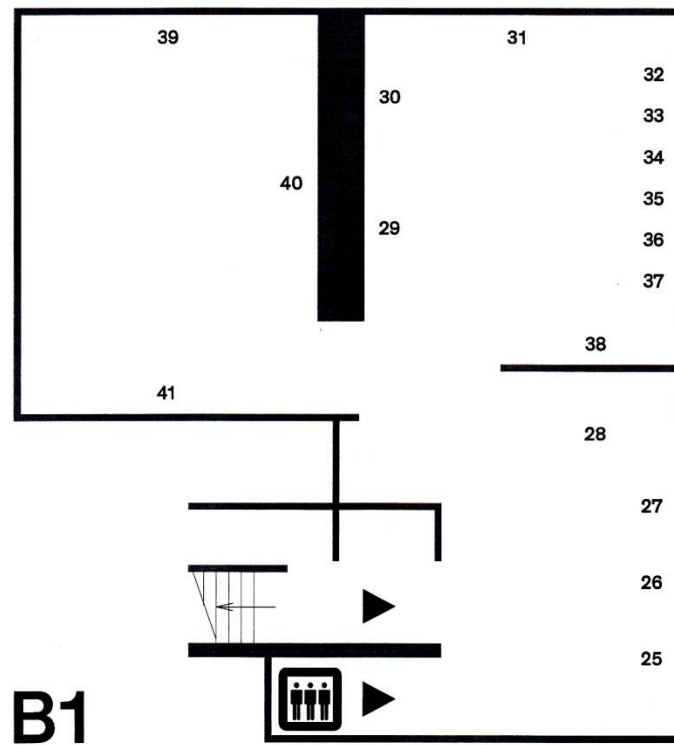
色鉛筆、鉛筆、紙

colored pencil and Pencil on paper

18.1×25.2

作家蔵

Collection of the Artist



久保ガエタン Gaetan Kubo

その生き物は全ての生き物の中で最も姿を変える $\Sigma\phi_y\xi$. So mutable a thing is none That moves in earth or sky or sea.

39 その生き物は全ての生き物の中で最も姿を変える

$\Sigma\phi_y\xi$. So mutable a thing is none That moves in earth or sky or sea.

2017

映像インスタレーション 6分55秒

Video Installation

作家蔵

Collection of the Artist

—

40 マ・メール(私の海)生成装置

Generating system of Ma mer. (My sea)

2017

インスタレーション(僕の体が僕の実験室です。あるいはそれを地球偶然管理局と呼ぶ。より)

Installation (From My Body is My laboratory. Or I call it ECCO.)

作家蔵

Collection of the Artist

41 破壊始建設

Research and Destroy

2017

映像 12分22秒

Video

作家蔵

Collection of the Artist